

令和 6 年度に実施した研究課題評価の結果について

1 中間評価について

(1) 評価の目的

これまでの進捗状況や目標達成可能性、研究を取り巻く状況の変化等の観点から、引き続き研究を続けることの適否を判断するための有用な情報を提供する。

(2) 評価対象

評価実施年度（R 6）に予算計上している継続研究課題。
ただし、研究開始年度及び終了年度にあるものは除く。

(3) 評価方法

① 内部評価委員会による評価を実施。

研究開始から奇数年度はヒアリング形式、偶数年度は書面形式により行う。

② 評価の観点及び評価項目

評価の観点	評価項目	評価内容
必要性	ニーズの状況変化 (a、b、c)	政策の転換や産業界・県民生活におけるニーズの変化等、研究を取り巻く状況の変化をみる。
有効性	研究開発効果 (a、b、c)	最終目標に到達した場合に、研究の成果が本県産業の振興や県民生活の向上に十分に貢献できるかをみる。
目標達成可能性	進捗状況及び目標達成阻害要因の状況 (a、b、c)	研究課題設定時の研究計画及び計画の修正記録等を基に評価時までの進捗状況を、技術水準、これまでの研究成果、他の研究主体の動向、研究資源、新たな課題の発生等の状況を基に目標達成を阻害する要因の状況をみる。
総合評価 (A、B、C、D)		次年度以降引き続き実施すべきか、また実施する場合の優先度を判断する。

(4) 総合評価の結果

評価結果	判定基準（項目評価の合計点）	課題数
A	9～8点	8課題
B	7～6点	7課題
C	5～4点	0課題
D	3点	0課題
合計		15課題

(5) 評価結果一覧(中間評価)

評価基準日 令和6年4月1日

No	研究機関名	課 題 名	事業年度	ヒア リング 実施	ニーズの 状況変化	効果	進捗状況・ 目標達成 阻害要因	総合評価	資料4
1	総合食品研究センター	花卉の食品利用技術開発	R5 ~ R7		b	b	b	B	1
2	農業試験場	実需に応じた秋田米生産を支える病害虫防除技術の確立	R3 ~ R7		a	b	b	B	7
3	農業試験場	大規模水田作におけるスマート農業技術を活用した労働及び土地生産性向上技術の確立	R4 ~ R8	○	a	b	b	B	13
4	農業試験場	高密度播種苗による良食味米品種の省力安定生産技術の確立	R4 ~ R8	○	a	a	b	A	19
5	果樹試験場	果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜	H28 ~ R7	○	a	a	b	A	25
6	果樹試験場	園地更新や新規参入を促す新たな果樹栽培技術に適應する品種の選抜	R3 ~ R12		a	a	b	A	31
7	果樹試験場	リンゴの土着天敵フル活用のための持続可能な環境負荷低減防除体系の構築	R4 ~ R8	○	a	a	b	A	37
8	果樹試験場	雨よけ施設を活用した果樹の省力・高収益生産モデルの構築	R5 ~ R9		a	a	b	A	43
9	畜産試験場	稲わらの調製方法の違いが肥育牛に与える影響の検討	R3 ~ R7		a	a	b	A	51
10	水産振興センター	磯根資源の管理と蓄養技術の開発	R4 ~ R8	○	a	b	a	A	57
11	林業研究研修センター	低コスト造林を実現する秋田スギの開発	R3 ~ R7		a	a	b	A	63
12	林業研究研修センター	多様な樹種構成による秋田の海岸防災林造成技術の開発	R4 ~ R8	○	a	b	b	B	69
13	林業研究研修センター	再造林オプションとしての広葉樹林施業技術の刷新	R5 ~ R9		a	b	b	B	75
14	産業技術センター	品質・設備モニタリング技術開発とスマート工場の実現	R5 ~ R7		b	b	b	B	81
15	産業技術センター	金型の機能性向上に資する金属AM技術の開発	R5 ~ R7		b	b	b	B	87

2 事後評価について

(1) 評価の目的

最終到達目標の達成度、研究成果の効果の観点から研究結果を評価し、次期研究計画の策定等に活用する。

(2) 評価対象

評価実施年度の前年度（R 5）に研究期間が終了した研究課題。

(3) 評価方法

① 内部評価委員会による評価を実施。

原則としてヒアリングにより実施。研究が、類似の研究課題に継続される場合は書面により実施。

② 評価の観点及び評価項目

評価の観点	評価項目	評価内容
目標達成	最終到達目標の達成度 (a、b、c)	研究計画で設定した最終到達目標の達成状況をみる。
有効性	研究成果の効果 (a、b、c)	研究成果の受益対象者の設定、成果の活用方法を踏まえ、研究成果の効果の評価する。
総合評価 (A、B、C)		最終到達目標の達成度、研究成果の効果から研究課題を総合的に評価する。

(4) 総合評価の結果

評価結果	判定基準（項目評価の合計点）	課題数
A	6 点	1 課題
B	5 ～ 4 点	1 6 課題
C	3 ～ 2 点	0 課題
合計		1 7 課題

(5) 評価結果一覧(事後評価)

評価基準日 令和6年4月1日

No	研究機関名	課 題 名	事業年度	ヒアリング 実施	目 標 達成度	効果	総合 評価	資料5
1	総合食品研究センター	美の国からのヘルス&ビューティーフーズ発信	R3 ～ R5	○	b	b	B	1
2	総合食品研究センター	秋田の清酒業界がポストコロナを生き延びるための革新的清酒製造技術開発	R3 ～ R5	○	b	b	B	7
3	総合食品研究センター	麹菌におけるゲノム編集育種の基盤構築	R5 ～ R5	○	b	b	B	13
4	健康環境センター	食品中の残留農薬の分析精度向上と調理による変化に関する研究	R3 ～ R5	○	a	b	B	19
5	農業試験場	第5期次世代銘柄米品種の開発	R元 ～ R5	○	b	b	B	25
6	農業試験場	野菜の競争力強化を目指した新栽培技術の開発	R元 ～ R5	○	a	a	A	33
7	農業試験場	先端技術を活用した新たな園芸作物病害虫防除技術の確立	R元 ～ R5	○	a	b	B	39
8	農業試験場	労働力不足に対応した園芸品目導入に向けた推進方策の解明	R3 ～ R5	○	b	b	B	45
9	畜産試験場	牛肉におけるモモの脂肪交雑を改善する肥育技術の開発	R元 ～ R5	○	b	a	B	51
10	畜産試験場	哺乳方法および飼料給与量が黒毛和種子牛の発育に及ぼす影響	R3 ～ R5	○	b	a	B	57
11	水産振興センター	ハタハタの資源変動と漁場形成に関する研究	R元 ～ R5	○	b	b	B	63
12	水産振興センター	湖沼河川における水産資源の安定化と活用に関する研究	R元 ～ R5	○	b	b	B	69
13	水産振興センター	漁業・流通支援システムの構築に関する研究	R2 ～ R5	○	a	b	B	75
14	水産振興センター	内水面重要魚種の増殖技術の高度化に関する研究	R2 ～ R5	○	b	a	B	81
15	林業研究研修センター	菌床シイタケのスマート栽培技術の開発	R元 ～ R5	○	b	a	B	87
16	産業技術センター	微細構造工学素子の基礎技術の確立	R3 ～ R5	○	b	b	B	93
17	産業技術センター	5Gを用いたテレプレゼンスシステムの研究開発	R3 ～ R5	○	b	b	B	99

令和6年度研究課題評価内部評価委員会委員名簿

機関名	評価委員会 開催日	評価委員の所属・職名	氏 名	代理出席
総合 食品研究 センター	6月4日(火)	農業試験場 企画経営室長 食のあきた推進課 課長 食のあきた推進課 食品振興アドバイザー 総合食品研究センター 所長 総合食品研究センター 総務企画室長 総合食品研究センター 食品加工研究所長 総合食品研究センター 醸造試験場長 総合食品研究センター 醸造試験場主席研究員	小松 寿 佐藤 はるか 武田 三郎 黒澤 正弘 佐藤 功 高橋 徹 畠 恵司 戸松 さやか	
健康環境 センター	6月4日(火)	保健・疾病対策課 課長 生活衛生課 課長 健康環境センター 所長 健康環境センター 総務企画室長	六澤 恵理子 永須 昭夫 熊谷 仁志 川原 和志	
農業 試験場	6月3日(月)	農林政策課 研究推進チームリーダー 水田総合利用課 課長 園芸振興課 調整・普及チームリーダー 農業試験場 場長 農業試験場企画経営室 室長	本庄 求 大友 秀樹 畠山 真理子 川本 朋彦 小松 寿	農林政策課長代理 園芸振興課長代理
果樹 試験場	6月3日(月)	農林政策課 スマート農業推進監 園芸振興課 調整・普及チーム チームリーダー 果樹試験場 場長 果樹試験場 総務企画室長	中尾 学 畠山 真理子 瀬田川 守 船山 瑞樹	農林政策課長代理 園芸振興課長代理
畜産 試験場	6月3日(月)	農林政策課 政策監 畜産振興課 課長 畜産試験場 場長 畜産試験場 総務企画室長	坂下 豪 小棚木 栄作 畠山 英男 加藤 真姫子	農林政策課長代理
水産振興 センター	6月3日(月)	農林政策課 政策監 水産漁港課 課長 水産振興センター 所長 水産振興センター 総務企画室長	坂本 豪 中林 信康 阿部 浩樹 斎藤 和敬	農林政策課長代理
林業 研究研修 センター	6月3日(月)	農林政策課 課長 園芸振興課 チームリーダー 林業木材産業課 課長 森林資源造成課 課長 森林環境保全課 課長 林業研究研修センター 所長	本郷 正史 畠山 真理子 真崎 博之 永井 秀樹 小野 圭 三森 道哉	園芸振興課長代理
産業技術 センター	6月10日(月)	産業技術センター 所長 産業技術センター 上級主席研究員(兼)共同研究推進部長 産業技術センター 企画事業部長 産業技術センター 先進プロセス開発部長 産業技術センター 素形材開発部長 産業技術センター 電子光応用開発部長 産業技術センター 先端機能素子開発部長 地域産業振興課 課長	斉藤 耕治 工藤 公樹 菅原 靖 内田 富士夫 工藤 素 梁瀬 智 佐々木 信也 辻田 豊英	